

主語と述語を見つけると、イコル(Ⅱ)の関係が分かります。

ぼくのペットは、公園で走っているチワワだ。

この文の主語は「ペットは」です。述語は「チワワだ」です。したがって、「ペットⅡチワワ」という関係が分かります。

私の姉は朝からずっと数学を勉強している。

この文の主語は「姉は」です。述語は「勉強している」です。したがって、「姉Ⅱ勉強している人」という関係が分かります。

次の文章を読んで、あとの間に答えましょう。

世界で最も大きなサメはジンベイザメです。約十三メートルに成長するサメです。ジンベイザメはプランクトンや小魚などを食べるので、人間を襲うことはありません。

ホオジロザメは、肉食のサメの中で一番大きなサメです。その体長は四、五メートルです。ホオジロザメは人間を襲います。そのため、映画『ジ

ョーズ』のモデルにもなりました。

さて、メガロドンは、古代の海を泳いでいた肉食のサメです。その体長はジンベイザメと同じくらいでした。海が暖かかった時代、メガロドンはクジラをエサにして生きていました。

環境の変化などが原因で、メガロドンは鮮新世(六百万年前から二百万年前)に絶滅しました。しかし、「現在もメガロドンは生きている」と考える人たちがいます。「メガロドンを見た」という情報もあります。

メガロドンのような動物を「UMA」といいます。UMAは、うわさなどはあっても、その存在が確認されていない動物です。ネス湖のネッシーは有名なUMAです。しかし、ネッシーの写真はインチキでした。このように、UMA情報の中には、にせものもあります。

一方、シーラカンスは七千万年前に絶滅したと考えられていました。しかし、一九九〇年代になって、生きたシーラカンスが南アフリカやインドネシアなどで発見されました。これと同じく、UMAのメガロドンも、世界の海のどこかで発見されるかもしれません。

問 [] に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

①人間を襲うサメⅡ []

②鮮新世に絶滅した生物

Ⅱ []

③うわさなどはあっても、その存在が確認されていない動物

Ⅱ []

④人間を襲わないサメⅡ []

⑤七千万年前に絶滅したと考えられていた生物Ⅱ []

⑥古代の海を泳いでいた肉食のサメ

Ⅱ []

⑦クジラをエサにして生きていた生物Ⅱ []

⑧南アフリカやインドネシアなどで発見された生物Ⅱ []

⑨映画『ジョーズ』のモデル

Ⅱ []

⑩約十三メートルに成長するサメ

Ⅱ []

A-4	主語・述語	解答
-----	-------	----

- ① ホオジロザメ
- ② メガロドン
- ③ UMA
- ④ ジンベイザメ
- ⑤ シーラカンス
- ⑥ メガロドン
- ⑦ メガロドン
- ⑧ シーラカンス
- ⑨ ホオジロザメ
- ⑩ ジンベイザメ